

よしあし

JAPAN OBOE CLUB

第1号 1986年3月1日発行

日本オーボエ・クラブ広報委員会編集・発行
〒171 東京都豊島区西池袋 3-25-2 大晴ビル
某(しおり)西池店内
印刷/桐ピスター企画 ☎ 03-204-1195
会報関係の連絡先 ☎ 03-806-7202 伊藤 博
☎ 045-391-4115 安原理喜
〒241 横浜市旭区本村町 17-1-612
郵便振替口座
「日本オーボエ・クラブ」東京 9-89563

日本オーボエ・クラブ誕生

昭和61年1月7日18時、東京・池袋にあるコーヒー店某(しおり)にて日本オーボエクラブ第1回総会が開かれ、会則、役員人事を承認の後、正式に発足しました。これまで関東を中心に、すでに3度オーボエ奏者の会が興りましたがいずれも種々の理由で消滅しており、この反省から今回は約3年という長い準備期間をへての発会式となったわけです。この間全国約150名のプロオーボエ奏者と会合やアンケートで意見を交し、会の目的や活動方法を具体的に検討してきた結果、

- ①会の代表者を置かない
- ②親睦を中心とする
- ③将来は一般愛好者も加える

というユニークな会則の骨子のもとに準備が進行、この日を迎えました。

当日は35名の正会員と多数の賛助会員が参加、会則案に一部修正があったにもかかわらず終始速いペースで議事進行しました。後半は某(しおり)店長の好意により全店貸切で発足の祝宴となり、遠方より参加の清水昭雄氏(呉市、海上自衛隊呉音楽隊幹部)、神永秀明氏(小山市、足利学園講師)、岡崎保彦氏(名古屋、フォックスウィングス)等と共に新年会を兼ねた親睦の一時を楽しみました。

会則案一部修正

先の第1回総会のおり、浜道晃氏(N響)より会則案最終項、第12条[その他、上記にない会則に関しては運営委員会がこれを定めます。]が第5条、総会での会則の変更と矛盾するとの指摘がありました。それに対し草案者を代表して安原理喜氏(フリー)が、この項目が将来的な会則の不備を補うために付加され、またこの項目がなくても他の項目により運営委員会は同様の義務を負っていることが推察されることを説明、同時に会則案第12条の削除を提案し可決され、会則が承認されました。
[11頁会則参照]

ユルク・シェフトライン

ウィーン・シンフォニカのオーボエ奏者、ユルク・シェフトライン氏が闘病の後、2月15日に永眠したとの悲報がマルタ婦人よりN響へ届きました。氏は昭和27年8月から29年7月までN響に在籍し、戦後の日本オーボエ界、音楽界に大きな功績を残しています。氏のご冥福をお祈り致します。

会長のない会の役員決定。

第1回総会での役員人事は残念ながら立候補の届出が当日、当時刻までなく、止むなく20名の発足準備委員がこれを割振ってその任に当たることで了承されました。したがって本年度は、会則上問題が起らない限りは全役員が対等の発言権を有することを確認の後、会則に基づいて以下のように役員が決定しました。

本年度の役員(五十音順)

運営委員 安藤稔章、石橋雅一、伊藤暁子、伊藤 博、
今井 薫、改田 晃、熊田明宏、河野 剛、
小島菓子、佐野直樹、高橋勇美、木間正史、
安原理喜、山本安洋、山本洋一。
監事 虎谷迦悦、似鳥健彦、古成行蔵。
会計監査 北島 章、佐藤順子。

各委員会が活発に活動開始!

第1回総会の後、1月13日に第1回の運営委員会が開かれ、各委員会の人事を暫定的に以下のように決定し、今後の詳細な活動案を提示するとともに、各委員会に委ねました。各委員会とも運営委員会の承認により、正会員の中から若干名の委員を指名できるため、今後の活動状況により多少の変動がありえます。

事務局 [書記] 山本安洋 [会計] 安藤稔章
[総務] 高橋勇美、今井薫、佐藤順子、佐野直樹
広報 安原理喜、伊藤暁子、伊藤博、北島章、木間正史
企画 熊田明宏、石橋雅一、河野剛、山本洋一、古成行蔵
推進 小島菓子、改田晃、虎谷迦悦、似鳥健彦
[最初に記載のある委員がその責任者]

会報をお届けします

会費は払ったけど一向に音沙汰なし? お待たせしました、年に4回の予定で会報を発行致します。タイトル「よしあし」の名称と図案は似鳥健彦氏(N響)の提案によるものです。創刊号は予定頁を大幅に越えて12頁になってしまいましたが、反面、取材範囲が限定され、広範囲な情報に乏しいことをお詫び申し上げます。今後は皆様のご協力により、更に内容を充実させてゆきたいと願っております。印刷は賛助会員桐東京ミックのご助力により、桐ピスター企画に特別なご協力を載せております。なお、読者の対象をオーボエ関係者のみに設定しているため、共通に理解しあえる範囲内で略語、省略された表記、一般的略称を使用させていただきます。不明確な場合はどうか広報委員会=編集部宛て一報ください。

特集 《日本のオーボエのルーツを探る》 PART 1

日本オーボエクラブ広報委員会編

偶然、大正2年のオーボエ奏者

三年ほど前のある日、とあるオーボエ吹きが入間市民会館（埼玉県）で仕事をしておりました。昼食後、彼は町中の古木屋で、一風変わった薄くて小さなピニ本が数冊重ねられているのに目を止めたのです。ピニ本といってもポルノではありません。...とにかく一見して現代の本でないことは確かでした。手に取ってみると、とても美しい浮世絵、しかも印刷ではない本物の版画の表紙に「大正二年」とあります。つまり大正二年の帝国劇場の特製プログラムだったのです。もともと古いものに異常な執着心をもっていた彼は、二千元という値段にもかかわらず、そのうちの二冊を買い求めました。

ビニールを破り、表紙を開くと、当時の「出し物」の荒筋と、たくさんの広告がメランコリックな大正ロマンの香りとともに次々と目に飛び込んできました。ワクワクしながら更にページをめくってゆくと、驚いたことに最後のページに当時の帝劇専属オーケストラのメンバー表が載っているではありませんか。しかも、な、なんとオーボエ奏者の名前がそこに記されているのです。

「八尾五郎」、ハチオゴロウ？ ヤオゴロウ？

だれこの人？オレは知らないぞ。こんな昔から帝劇でオーボエを吹いている人が居たのか...?!

さて、この会報の編集と発行を担当することになった当広報委員会では、会報に毎号特集記事を組むことに致しました。今回はその第一号ということで、内容決定に際して委員一同、日頃使わない頭をつきあわせての検討の結果、この「帝劇プログラム発見」を契機に「日本のオーボエのルーツ」に斬り込んでみようではないか、という決心をするに至ったのであります。もしかしたら、結論は出せないかもしれませんが。資料や情報集めも必要なのでしばらくの間「連載」という予定でもあります。なんとか頑張りたいと思うのですが、いかにせん、なんせ僕等はこの点に関して素人でして...

注) 帝国劇場は明治44年3月設立、従来の興行組織とは異なる会社経営で行われ、外国の演奏家や歌劇団等を招いたことにも大きな功績がある。【世界大百科辞典】



大正二年 帝国劇場プログラム最終頁より転載

しかし、実際のところ、日本での洋楽の歴史が欧米に比べて大変短いにもかかわらず、おそらく我々の場合リード研究に熱心なあまり、「オーボエのルーツ」の追及はほとんど皆無であり、時期を逸すると本当に分らなくなってしまうのではないかと、というのが当委員会の判断なのです。我々の大先輩諸氏はいかなるきっかけでオーボエを知り、どのような楽器で、どのようなリードで、どのように学び、どのように吹き、また、ケーンの入手は、楽器の修理は等々、興味は尽きません。しかも、そこには我々後輩が感謝して止まない大変な苦勞があったにちがいないのです。

皆さんもぜひこの「ルーツ発見の旅」に参加していませんか。いやいや、ぜひ参加して載かなくてはならないのです。このためには断片的な資料と、皆さんの記憶だけが頼りなのです。情報と協力を心よりお待ちしております。

さて今回は、かつて日本のオーボエ界に大きな足跡を残し、今もなおその勇姿をとどめる「帝国海軍軍楽隊」のオーボエ奏者を中心に、またこれをルーツ発見の起点として出発したいと思います。（木間正史、都賀）

かくして特集の編集方針が定まるや、編集長は早速「行け、飛べ、走れ、インタビューじゃ〜」と号を発した。この人、日頃自分が原稿の締切りを守らず、催促の電話に悩まされているものだから、立場が変わった途端、この恨みを一気に晴らさんとやたら張切っているのである。まず矢面に立たされたのは編集部の方、伊藤量子さん（武蔵野音大卒、フリー）。彼女の恩師でもあり、現在、現役かつ会員中最高齢と目される坂逸郎氏へのインタビューであった。

伊 [伊藤量子] よろしくお願ひしまーす。で、早速ですが、先生は確か大正のお生れで...

坂 [坂逸郎] そう、大正1年12月24日、岐阜県安八郡名森村の生れでね...

伊 あの、大変失礼だとは思いますが、当時どうしてそんなところで、オーボエという楽器を...

坂 まあ、音楽は好きでね、バイオリンは少しこすっておったんだがね。小学校を出て名古屋の会社に勤めていたとき、そこの守衛さんが海軍の出身でね、「海軍の軍楽隊に入ると服装はこうで、剣を下げて、音楽は教わるし、12年も勤めると恩給はもらえるし、いいよー」ってね。とにかく貧乏人は官費で勉強さしてもらうしかなかった時代だからね、それで軍楽隊の試験を受けたんですよ。二つの音を鳴らして「どっちの音が高いか」という簡単な試験でしたよ（笑）。

伊 それで音楽の道へお入りになったんですね...

坂 そう、軍楽隊に入って初めてオーボエを手にしたんですよ。ひどい訓練でした。音階ができないと逆立ちさせられたり、よしと言われるまで走らされたり、その間吹かせりゃいいのにね。1年半の教育期間にオーボエを角淳先生と坂上松蔵先生に教えてもらい、その後、東京音楽学校での特習科練習生となりました。そのころの東京音楽学校にはフルートにもオーボエにも先生がいなかったから、マーラーなんて大きな曲をやると海軍から大勢応援に行ったものでしたよ。

伊 当時の楽器はどういうものだったのですか。

坂 初めてオーボエをやったころは何だったかね、とにかくキイがとて少なかったね。音楽学校の楽器を使わせてもらったときはヘッケルでした。その後、当時の日管がヘッケルモデルというオートマチックの楽器

を作ったりしたね。昭和12年の航海でドイツへ行き、シューラーを買いました。当時450マルクで月給の3倍位だったね。その楽器は今も小学5年になる私の孫が吹いています、まだ十分に使えるね。

伊 リードはどうされたんですか。

坂 海軍のときは完成品ですよ。自分で作るなんて方法知らなかったからね。フランスとドイツから3種類輸入されてね、みなじ字型だったがヘッケルのリードが一番良かった。月に2本「よるなよ」なんて言われながら配給されたんだが、買うと3円位が高かったね。戦争中は輸入禁止で完成品が来なくなってね、青山治一さんが和製のアンをノミでえぐって、おもちゃのようなカンナで舟型を取って、作ってくれましたよ。

伊 その後、東京放送管弦楽団にお入りになられたんですね。

坂 海軍をやめるときに角先生と坂上先生が東管にいたものだから、来ないかって言うんで昭和18年に入りました。終戦になって今度は東宝交響楽団が始まるってことで誘いがきてね、当時、東管の給料は200円だったけど東宝は400円くれると言うんで、8年半居ましたよ。

伊 N響にお入りになったのは...

坂 昭和29年、41歳でしたよ。ウィーンシェフトラインが帰るんでオーボエが弱くなる、それで来ないかって言われてね。14年いて、43年に退団しました。その後、名古屋芸大から話があって、今でも非常勤で行ってますよ。

伊 あら、何だか振出しに戻ってしまったみたい、でもいまでも元気に活躍していらっしゃるわけですね。

坂 2年前に脳血栓をやってね。今は吹けないこともないが、もう73だからね、若い人に職場を譲らなくちゃね...（笑）

伊 とところで、今度の会報のテーマは「日本のオーボエのルーツ」なんですけど、何かご存知では...

坂 — これは楽水会（旧海軍軍楽隊、別記参照）の名簿なんだが、役にたつかね。そうそう、この楽水会々長の橋本勝見さんはオーボエでね、今年92歳になるが、お元気ですよ。一度会ってみるといいね。

伊 エ、エーッ、92歳！ 木日は、ど、どうもありがとうございます。



坂 逸郎氏

伊藤量子さん

橋本勝見 92歳 元海軍軍楽隊 オーボエ奏者
この話にルーツ特捜班はどよめいた。「意外とあっけなく分りそうですね。」「油断してはいかん、問題はどやうやって彼と接触するかの。」「ただそんなに早く進んだら連載にならないよ、次のテーマどうすんの」……しかし、そのころすでに吉成行蔵氏（武蔵野音大）は帝劇の八尾五郎を追って、自身の先輩に当たる橋本勝見氏と会見していたのである。

吉「吉成行蔵」 本日はおかつろぎのところを失礼します。橋本さんは現在最長老のオーボエ奏者ですが、いつ頃からオーボエをお始めになりましたか。

橋「橋本勝見」 明治45年、海軍軍楽隊に入隊したときはコールネットでした。そしてクラリネット、バスーンを吹き、大正7年にはオーボエを吹いていました。オーボエ奏者が少なく、大変でした。その上、教員でしたから、生徒も教えておりました。

吉 よく短期間でマスターしたんですね。

橋 よく練習もしましたし、きっと筋も良かったのでしょう（笑）。ウィリアムテルのオーボエソロは有名でしたよ。

吉 当時の楽器のメーカーは。

橋 ベッソンです。なかなか良い楽器でした。

吉 リードはどこ製の製品ですか。

橋 ヘッケルとフランス製の完成品でした。

吉 生徒さんで現在お元気な方はおられますか。

橋 現在生存者はおりませんが、角淳君が最初の生徒でした。NHK、宝塚、東音等で活躍しました、坂逸郎君の先生です。代々海軍のオーボエ奏者は素晴らしかったのですよ（笑）。

吉 とここで、大正2年の帝劇にオーボエで八尾五郎さんという方がいたようなのですが、ご存じですか。

橋 そのころ私は東京におり、音楽学校の人達とは交流がありました但し知りませんでした。

吉 いつまで軍楽隊にいらっしゃったのですか。

橋 大正11年11月11日までです。退職金を三千元もらいました。当時庭付の家が千五百円位でしたから大変高額でした。そして東京楽器研究所に入り調律家として頑張りました。全国で約50名位でしたから忙しく、お金がたまりすぎて困りましたよ（笑）。

吉 ありがとうございます。どうぞ今後ともお身体を大切にお過ごし下さい。



橋本勝美氏

楽水会

は旧海軍軍楽隊の集りて、その名跡は明治2年薩摩藩伝習生に始まっている。伝習生にはそれぞれ楽器名が付され、[s-cl.]の表示はあってもObの表示がないところから、この段階でまだオーボエは導入されていなかったことが推測される。楽器名としてオーボエが登場するのは明治39年以降であるが、それ以前は他の楽器名もほとんど記されていないので、実際にいつからオーボエが導入されたのかは不明である。この点に関してはもう少し資料と調査が必要である。どなたかご存知ないであろうか。（安原理喜）

楽水会オーボエ奏者一覧

人隊	〔 〕内は坂逸郎氏の補足	
明39	浜田盛忠	明42 山本鉄之丞
明43	加藤金一郎、黒田周蔵	明44 渡辺為一
明45	橋本勝見〔楽水会々長〕、山田仁市	
大5	棚池慶助〔新響初期〕、松本孝義	
大6	白井正吉〔松竹響〕、吉田長次郎〔宝塚〕	
大7	金野勇吉、向井三男	
大8	斉藤 佐〔仙台放管〕、岩崎長生	
大9	角 淳〔昭5除隊、東管、東宝〕、高橋次郎	
大10	谷口維雄、平田精策〔日劇〕	
大11	谷口利雄、中津井 実〔東京音楽学校教師〕	
大12	新宅孝、平野政〔新響〕	
大13	大森佑一	
大14	岩切禎春〔フリー〕、坂上松蔵〔東管〕	
大15	青山四郎、高橋庄吉	昭1 長瀬 進
昭2	水濑秀男	昭3 柳沢猪四郎
昭4	鹿野敏四郎、次部守男、所 善之進	
昭5	千葉清司、坂 逸郎〔東管、東宝、N響〕、福田三男〔京響初代〕	
昭6	大谷博幸、片山 幸、谷山助広	
昭7	小山光男、相根久兵衛	昭8 吉田正治
昭9	金谷 隆〔陸自幹部〕、前原史郎〔東響〕、三上信雄〔東響〕	
昭10	千葉 茂〔関西響、大阪放管〕、菅野 悟	
昭11	稲葉喜一〔NHK楽器係〕、君塚博次	
昭12	香川道夫、河田龍男	
昭13	川本守人〔N響〕、平田正雄〔大阪放管Fg〕	
昭14	梅原美男〔東京芸大〕	
昭15	井上 修、山内幸男	
昭16	岸本春夫、吉成行蔵〔東管、武蔵野音大〕	
昭17	荻原直一〔sax.〕、斉藤義一〔sax.〕	
昭18	染谷栄一〔消防庁音楽隊〕、馬場正雄	
昭19	河西 充、瀬戸碧策、滝沢音久〔フリー〕 田村章二、森 茂生	
昭20	滝川明男	

情 報 & 案 内 欄

★ コンサート・ガイド ★
(1986/1 ~)

- 1/15 (水) 15:30 木下音感学院 ホール
《ニューイヤ・コンサート》 PIANO & OBOE
Ob 辻 功 Pf 大竹 淳子
SCHUMANN/Adagio & Allegro
BRITTEN/6 Metamorphoses
S-SAENS/Sonate Op.166
- 1/17 (金) 18:30 岡崎せきれい ホール
《ピアノ・オーボエジョイント・コンサート》
Ob 辻 功 Pf 大竹 淳子
SCHUMANN/Adagio & Allegro
BOZZA/Fantaisie Pastorale
S-SAENA/Sonate Op.166
- 1/19 (日) 14:00 犬山陸美音楽センター ホール
(1/17と同プログラム)
- 2/1 (土) 浅葉造形アトリエ《Ob & Hpのコンサート》
Ob (Fl) 安原 理喜 Hp. 山畑 松枝
RAMEAU/ガボット MARCELLO/Con. 2mov
JS.BACH/Adagio BWV156
MOZART/Adagio[HE] K580a S-SAENS/2mov
BRITTEN/6 Metamorphoses
他、ポピュラー等。
- 2/17 (月) 19:00 武蔵野市民文化会館 小ホール
《Flut, Oboe and Harp》
Fl 名雪 裕伸 Ob 庄司 知史 Hp 久保なおみ
F.Martin: Piece breve 他。
- 2/20 (木) 18:30 札幌市教育文化会館 大ホール
《演進新人演奏会》
Ob. 吉岡りえ Cod 小松一彦 札幌交響団
モーツァルト: Oboe協奏曲ハ長調 K.314
- 2/28 (金) 19:00 兎小舎 《バロック音楽の夕べ》
Ob 吉岡りえ Ob 山田真由美 Fg 吉田 将
Cb 桜井 茂 Cemb 向井 啓子
BACH/Sonate BWV 1020, 1030
ZELENKA/Triosonate No5
- 3/29 (土) 18:30 ケトル4-F ¥1,500- ☎0273-22-6097
第1夜《安原 理喜 Ob音楽の夕べ in 高崎》
BACH/Sonate BWV1020 WIDERKEHR/Sonate
DONIZETTI/Sonate NIELSEN/Romance
S-SAENS/Sonate POULENC/Sonate 他、
Ob 安原 理喜 Pf 中井 徳子
- 3/30 (日) 19:30 高崎 酒坊一空 ¥4,000-(飲食付き)
第2夜《孤独への挑戦》 ☎0273-26-0051
TELEMANN/12の幻想曲(Ob Solo)
BACH/無伴奏 Sonate BWV 1013
BRITTEN/6 Metamorphoses
YUN/Piri 他。
- 4/17 (木) 19:00 ヤエス メッグ ホール
《キ・モア Ob Quintett 第2回演奏会》 ¥3,000-
Ob Dam EH 小川 綾子 三矢 幸子 伊藤 量子
今井 薫 山本 京子
Fg 野沢比呂美
JS.BACH/カンタータ, モテット, マタイ,
管弦楽組曲第2番 他。

このコーナーへの掲載は無料です。皆様からの情報をお待ちしています。雑誌等に掲載されない演奏会、また東京以外の演奏会は、特に歓迎します。演奏会の予告は勿論、記録として残すため過去の演奏会(今年1月以降)もお願いします。なお今回は、情報不足のため内容に偏りがあることを、お詫び申し上げます。

- 対象 — ①オーボエ協奏曲(2重協奏曲等を含む)
②オーボエ独奏曲
③オーボエ属による室内楽
④オーボエが中心となる室内楽(Obと弦楽器、JOLIVET/Serenade等、通常の本管アンサンブルは不可)。

有料公開のものならば小さなコンサートも可、ただし学生のおさらい会等は除きます。またできる限り独奏の場合は、曲目を載せるつもりなので曲名もお書き下さいお問い合わせ、ご意見等は編集部案内欄担当 伊藤 博まで。

★★ コンクール情報 ★★

今年行なわれる主な国際コンクールは次の2つです。

- 『ブラハの春』国際コンクール
『ミュンヘン』国際コンクール (9/2 ~ 9/19)

このうちミュンヘンの情報が入りましたのでご紹介致します。申し込み締切 7/1 審査員には丸山盛三氏も加わっていらっしゃいます。

- 1次 J.S.BACH/Sonata g-moll BWV 1030b
ZIMMERMANN/Concerto.
- 2次 HANDEL/Sonata F-dur
TELEMANN/Sonata e-moll
VIVALDI/Sonata c-moll
Sonata g-moll Op13
* 以上4曲中1曲。
ISANG YUN/Piri
LUCIANO BERO/Sequenza VII
H.HOLLIGER/Studie II
SCHENKER/Monolog
STOCKHAUSEN/"In Freundschaft"
* 以上5曲中1曲。
KALLIWODA/Concerto F-dur
RIETZ/Konzertstück
PONCHILLI/Capriccio
* 以上3曲中1曲、計3曲。
- 3次 LEBRUN/Concerto d-moll
KROMMER/Concerto F-dur Op.52
HUMMEL/Introduction, Theme & Variations
* 以上3曲中1曲(暗譜)
MARTINU/Concerto
BRITTEN/6 Metamorphoses
MILHAUD/Concerto
* 以上3曲中1曲(暗譜)
SCHUMANN/3 Romances の計3曲
- 本選 MOZART/Concerto (オケ伴 暗譜)
以上全9曲!!

◎ レコード 紹介 ◎
(1986/1~3)

このコーナーでは数少ないオーボエのためのレコードコンパクトディスク(CD)をご紹介します。レコード、CDのご購入の目安として、また資料としてお使いいただければ幸いです。

- 対象①オーボエ協奏曲 ②オーボエソナタ
③オーボエを含むトリオソナタ
④オーボエ独奏を中心としたもの、その他。

◆ 日本盤 ◆

- TELEMANN/Ob協奏曲集 フィリップス 32CD326(CD再)
ホリガー、ブラウン/アカデミー室管
HANDEL/Ob Con No1~3他。28MA4503(LP) F35A50056(CD)
ライヒェンバーク ピノック/English Concert
JS.BACH/Ob協奏曲集 プロアルテ VDC1056(CD)
Ob Dam S.ハマーリッキン/パッハ・アンサンブル
イタリア バロック協奏曲集 エラートRECD2828(CD再)
ピエルロ シモーネ/イソリスティ ヴェネティ
NHK名曲アルバムVol.5より キング SLD56(LP)
MOZART/Ob四重奏曲 mov 北島 章、他

◆ 輸入盤 ◆

ここに御紹介したものは、本国ではすでに発売されておりますが、日本には未輸入のものがありますのでご注意ください。

- Ob Collection Ob.Robin Canter Ssydisc SAR22(LP)
Played by original Dulzaina, Showm, Hichiriki
Baroque・Classical・Romantic・Modern
MOZART/Ob Con. Segence SEQ22103(LP)
Ob/D.Wickens The little Orchestra of London
MOZART/Ob Quartet Segence SEQ21101(LP)
Ob/Tess Miller Arriaga Quartet
VIVALDI/Ob & Vl Con. RV548,554 Unicorn
Ob.Sarah Francis Vl.Richard Studt
The late Music group DKP9095(LP) DKP9050(CD)
MOZART/Ob Con. Harmonia mundi 697 169552(LP)
Ob/H.Hucke Collegium Aureum
HANDEL/Ob Sonata (4曲) Harmonia mundi
Ob/H.P.Westernmann 157 16954(LP 2枚組)
V.GLOBOKAR/Discors III fur 5 Oboen FSM PRE68517(LP)
Ob/H.Holliger
BRITTEN/6 Metamorphoses, DUTTILLEUX/Sonate
POULENC/Sonate, HINDEMITH/Sonata Ob/M.Bourgue
Harmonia Mundi HMC902(LP再)
J.C.BACH/Ob Con. F Harmonia Mundi HMA55349(LP再)
Ob/Mario Loschi Milan Angelicum Orch.
HANDEL/Ob Con. g Harmonia Mundi HMC5197(LP)
Ob/Bruce Haynes
The Sanfrancisco Philharmonia Baroque Orch
MOZART/Ob Con. Oiseau-Lyre 414 339-1(LP) -2(CD)
Ob/M.Piguet The Academy of Ancient Music
MOZART,HAYDN/Ob Con. Schwann CD11002(CD)
Ob/P.W.Feit W.Kammerorch
HANDEL/3 Ob Sonaten Schwann CD6018(CD)
Ob/O.Zopoli
TELEMANN/Ob Con. g Da Camera Magna GPT 1985(LP)
Ob/Frank von Koeten Heidelberg-kammer Orch.
このコーナーは、Obのレコードコレクターで賛助会員の斎藤博之氏のご協力により作られております。なお、このコーナーへのご意見、ご希望、レコード情報(特に自主制作盤)などございましたら編集部 伊藤 博までお寄せ下さい。

★ オーディション情報 ★
(JDRサロンコンサート)

日本ダブルリード株式会社は才能ある若き演奏家の方々が、明日の音楽界へ大きく羽ばたく前進の一步として、表現できる場を提供していきたいと存じます。

このことは私どもが使命として感じることであり、ささやかなりとも音楽界の発展に寄与できることを願うものであります。

ダブルリードの新進の演奏家の方々の、常日頃の成果を、一人でも多くの方々に聴いて頂くことを目的とします。

— 実施方法 —

名 称	STEP FORWARD CONCERT
対 象	ダブルリード専攻者で、指導者の方の推薦を受けた方。また、国内外のコンクールの入賞者の方に当社より依頼することもあります。
場 所	JDRサロン (使用無料)
申し込み	所定の用紙に御記入の上、写真1枚を添えて郵便もしくは店頭にて受け付けます。
受付期間	コンサート希望の3ヶ月前の月末までにお申し込みください。
開 催 日	毎月の土曜日
演奏時間	1時間
席 数	50席 鑑賞券(無料)を発行します。
宣伝方法	①月刊誌の広告欄に掲載します。(1~2回) ②氏名、演奏曲目、写真等を入れたチラシを配布します。
※	詳しくは日本ダブルリードまでお問い合わせ下さい。
	☎ (03) 364-1761

§ 立ち読みコーナー §

このコーナーは新刊、新聞、雑誌の中から、オーボエに関係の深い事柄を拾い集めたいと思います。特に地方紙の記事(コピー)をお送り下さい。自薦、他薦を問いません。今回は、目にふれたものだけ.....

- バンド・ジャーナル [音楽の友社]
85/4~86/3 《ワンポイント・レッスン》 脇岡 総一
86/2 Spotlight 《II.ホリガー》 似島 健彦
バンド・ピープル [八重洲出版]
85/4~86/3 《バンビ・セミナー》 庄司 知史
85/2 特集《プロが教える楽器選びのポイント》 安原 理喜
バイパス [バイパス]
No.52~54集中連載《合理的なObリードの作り》 高橋 勇美

有 料 二 行 案 内	
クloffァーのチューブ(Ob. Dam. Eh.)求む。 ☎ 03-926-3616 今井 薫	
レコード(特に東欧等、プライベート盤)情報求む ☎ 03-895-0284 齊藤博之	
☆ワープロの打てる方☆会報編集に興味のある方☆ ぜひ、当会報の編集をお手伝い下さい。広報委員会	
求仕事。当方経験豊富、仕上迅速華麗、全器種完備 楽種不問、電話全国即参上。045-391-4115安原理喜	
この欄の広告募集! 1行23字まで(英数字・半文字扱可)、右下表参照 楽器売買求人求職、家出猫等何でも可。二行案内係	

会員を増やしましょう

日本オーボエ・クラブの正会員は2月末日現在88名、賛助会員12法人です。現在、全国約160名と推定されるプロ・オーボエ奏者の過半数を越えているとはいえ、まだまだ少ないと言えるでしょう。皆さんのお近くに未入会の方、会をまだ知らない方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会をお勧め下さい。(推進委員会)

◎ 入 会 案 内 ◎	
◆正会員[自分をプロだと思う人]年会費三千元	
◆賛助会員[法人]年間一〇一万円を一口以上	
郵便振替用紙(郵便局にあり)にて、〒住所・氏名 ふりがな・電話、正会員は年齢・性別・所属、賛助 会員は担当部所名を記入して下記へご送金下さい。 日本オーボエ・クラブ、東京 9-89563	

新製品の紹介——ストラッサー・モデル701

従来のストラッサー・モデル801に第3オクターブキイと低B(H)-C運動アームが付加され、しかも定価が77,000円も安くなりました。アマチュア奏者にとって朗報です。(定価)575,000円(輸入元)野中貿易株(お問合わせ)セルマー・ジャパン株 ☎ 03-705-8211

応援ありがとうございます。

日本オーボエ・クラブはまだ充足したばかりですが、早くも以下の方々賛助会員として入会されました。積極的な応援ありがとうございます。

- 株東京ミック(Ob & Fg) ☎ 03-208-8331
- 株グローバル(楽器輸入) ☎ 03-367-4801
- 株東京ミュージックアーツ(Fox) ☎ 03-367-4801
- 株ダク(オーボエ担当、三小生) ☎ 03-232-8631
- フォックスウィンズ株(Fox) ☎ 052-262-5400
- シレーナ(ローレー) ☎ 03-232-8631
- アトリエ・ミネ(修理) ☎ 03-307-5041
- 株セルマー・ジャパン/株野中貿易 ☎ 03-705-8211
- 株日本ダブルリード(JDR I) ☎ 03-346-1761
- 新日本地産株(齊藤博之) ☎ 03-895-0284
- 株ビュッフェ・クラブボン ☎ 03-586-4911
- 株河合楽器製作所 ☎ 0534-57-1323

高尾山でお花見とハイキング

- ◆5月7日(水) 10:30 ◆京王線高尾山改札口集合
- ◆参加自由 ◆費用各自 ◆雨天中止 ◆解散後宴会可
- ◆各自が用意する物 雨具、弁当、水筒(飲物)
ビニール・新聞等下に敷く物
- ◆お問合わせ ☎ 0423-44-7101 熊田明宏(企画委員会)

アイデア募集「オーボエ界紳士録」

事務局および推進委員会では会員相互の理解を深めるため、またオーボエを広く一般にアピールするために、通常の住所録の他に、オーボエ界紳士録(仮称)作製の企画を進めています。エキストラに頼みたいが今一つ情報が足りない、名前は知っているが顔が分からないなど従来の住所録の不足を補う他、これを一般に販売して我々の業務拡大、ならびにアマチュア奏者に地元の先生を紹介する役目も考えております。現在ここに盛り込むべき内容に関して、広く皆様のご意見やアイデアを募集致します。お近くの運営委員、また事務局宛てご連絡下さい。内容の例 写真を入れる、所有楽器[Dam Eh Barock等]出身地、生年月日、出身校、趣味、星座、血液型...etc

記事、情報を送って下さい!

この日本オーボエ・クラブ会報「よしあし」は皆さんの会報です。オーボエに関するありとあらゆる情報を皆さんにお届けしたいと思っており、またありとあらゆる情報とご要望を皆さんから戴きたいと願っております。発行は年4回、3月、6月、9月、12月の各1日を予定しており、投稿の締切りは各発行日の1ヵ月前です。なお、楽器や備品等の売買、交換情報は賛助会員の業務を妨げる恐れがありますので、左欄にある有料案内をご利用下さい。また、新製品の紹介等、有・無料の境界が不明確な場合は両者で取り扱います。(広報委員会)

会報広告掲載料金表	会員	非会員	
二行案内 二行まで	1,000	2,000	
同 追加一行毎	500	1,000	
要版下	B5 1/4	6,000	12,000
	B5 1/2	12,000	24,000
	B5 全面	24,000	48,000
チラシ折込み一枚目	3,000	6,000	
同 追加一枚毎	1,500	3,000	

※チラシは郵送の関係でお断りする場合があります。86-3-1 現在 単位 円

◎ 編集後記 ◎ いやはや大変なことを始めてしまった。この興りは、皆で花見に行つてオーボエでも吹こうなんてことだった。その時点で、私がここを書く立場に成つていようとは思っていなかった。いやちがう、誰かがこういうことをしてくれないか、という明白な期待は寄せた。それを言いだした人間にその役目が回つて来たわけだ。まだいろいろ不備な点も多いし、作業の遅れは今後も続くであろう。どうかご理解を!(安原理喜)